

銚子市地域おこし協力隊 令和6年度活動報告書

隊員名	小沢 智樹	活動開始	令和6年6月1日
活動分野	民間企業受入型（受入事業者：銚子信用金庫）		

今年度の活動報告

地域金融機関の将来の存続、発展に資するべく、営業エリアにおける人口減少抑制および経済発展を目的とする、新規事業開発を支援した。

- ①地域商社事業の可能性に関する調査研究
- ②投資事業の可能性に関する企画提案

関係者外編 地域商社の実態と 参入可能性に関する調査 調査報告書 2025年2月 地域サポート部 小沢 智樹		関係者外編 投資事業企画提案書 2025年2月 地域サポート部 小沢 智樹		関係者外編 はじめに わが国の事業者向け金融サービスは、伝統的に関係金融、すなわち融資が中心となってきたが、近年は国家で主力である直接金融、すなわち投資の比重が増えつつある。2010年代前半の投資ブームでは、投資ファンドの台頭に依り、「ハズタカ」という呼称に象徴されるような、反社会的な事業として爆発的な発展が図られ、その後2009年に発生したいわゆる「リーマンショック」によって、投資総額は急激に減少し、わが国の投資市場は減退した。一方、1998年以降の「0金利政策」から、2016年以降の「マイナス金利政策」とわが国の金融政策が転換する中、金融機関に対する「他業リスク」に関する規制緩和を契機として、地銀や信金等による地域商社や投資会社の設立が活発となるなど、金融機関による預金や融資以外の事業への拡張が、再び活発となっている。 投資は融資に増して企業の経営支援に適した特長があることから、今後預金・融資と並んで、わが国金融機関の主要な事業へと成長することで、事業者向け金融サービスの多様化が図ることが見込まれる。翻って、当営業エリア（以下「エリア」と略記）内の自治体は、消滅する危機に瀕する状況にあることから、今後の地域再生に向けて抜本的な取り組みが求められるところである。こうした状況において、地域の金融を主導する立場としては、金融サービスの多様化の流れを先取りして、いち早く投資関連の事業基盤を構築することが必要不可欠と考える。 本企画提案書は、当該の既存のリリースに、利用可能な外部のリリースを組み合わせて、ことで実現が可能となると思われる、投資事業の進め方を提案する。必要なスキルや書類を調りつつ、段階的により高度な事業内容へと展開する方針としている。 結論 GPはファンド運営に関する専門知識はもとより、法律や税制に精通する必要がある。少なくとも専門家の招聘が必要と考えられる。従って、当初からGPに取り組みすることは現実的でなく、LPとして参画が必要と考える。さらに、LPとしての事業に参画し、「買」等既得の投資商品の紹介事業で、投資に携わっておくことも必要（ただし「買」は資金での取り扱いはしやすに配慮してか、用語の使い方が「投資の本来」と乖離している点に要注意） しLPをGPとするスキームや「特別LP」など、LPをより積極に組織するための、新たなスキームが構築されているので、積極的に活用する機会を捉えたい。 地方、令和6年6月の内閣府令等規制緩和が進みつつある。利益相反や優越的地位の濫用に対する懸念はなお残る。このことから、子会社化を含み事業化並びに事業の高度化の可能性も視野に入れておきたい。	
関係者外編 【調査概要】 1. 調査テーマ 「地域商社の実態と参入可能性に関する調査」 2. 調査の目的および意義 中核的価値 地域商社を対象に体系化された調査を独自に実施することで、当県における価値連鎖への参入機会と資金等の方針を検討するための必要な情報の収集を目的とした。 なお、実施調査編「1 調査テーマ」および「11. 地域商社の設立可否ならびに事業の方向性検討のための情報」では、現時点で想定される事業プランに関する点について一部書き及した。 フィジビリティスタディ案 所轄調査編に附けた事業プランの有望なものについて、その実現可能性を検討することを目的とした。 3. 調査方法とスケジュール (1) 調査方法 ① 文獻調査 ② 調査対象企業・団体のキーパーソンに対する直接面談取材 (2) スケジュール 調査期間 2024年8月13日 ～ 2025年3月19日		関係者外編 目次 はじめに.....1 用語の定義.....2 その他参考情報.....2 概要.....6 1. 本企画提案が対象とする事業.....6 2. 企画提案の目的.....6 3. 企画提案が目指すゴールならびに長期的な目標.....6 4. VC事業の基本コンセプト.....7 5. リスク要因.....9 6. 事業の阻害要因と解決策.....9 7. 本企画の実現可能性.....11 投資価値.....12 1. 現状の課題.....12 2. 投資事業有価証券組合(LPS).....12 調査方法編.....13 1. 意義.....13 2. スタートアップのステージに合った支援.....13 事業計画編.....14 1. 基本方針.....14 2. ステップ別ビジネスモデル.....17 3. ロードマップ.....33 4. 必要な組織体系の概要.....38 5. 業務フロー.....39 6. 収支計画.....41 実現可能性の検証分析.....46 1. マイルストーン（計画達成の要因と実現可能性）.....46 中核的価値の検証.....51 1. ステップ1.....51 2. ステップ2.....51 3. ステップ3.....51		関係者外編 フロンティア開発.....54 1. フロンティア分野のオプション.....54 2. 従来の創業者や経営者の経営戦略.....58 3. フランチャイズ.....58 今後の所望.....60 参入要件.....61 価値連鎖の形成（LPはGPと並列に「買」の設立について）.....61 市場動向.....63	
関係者外編 目次 I. 調査報告.....3 1. 実現可能性.....3 2. 地域商社事業の意義.....4 3. 事業方針の考え方.....6 II. 市場実態編.....9 1. 市場動向.....9 2. 地域商社の設立可否ならびに事業の方向性検討のための情報.....19 3. ヒアリング調査結果.....33 III. フィジビリティスタディ案.....46 1. 分析手続.....46 2. 分析結果.....46 3. 監督官庁等への申請等手続の概略.....47		関係者外編 4		関係者外編 5	

来年度の目標・予定

有望な事業として投資事業に関して企画提案した。来年度は具体的な事業開発に着手する。

- ① 組織体制の整備と人材育成
- ② 投資商品の発掘及び開発

その他（これまで活動してきた感想など）

役職員からの積極的な支援を心強く感じる。

【お問い合わせ】銚子市 秘書広報課 公民連携事業室 0479-21-3779